

# 庁議の概要

開催日 平成 21 年 1 月 26 日 (月)

## 項 目

- 1 平成 20 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について【教育委員会】
- 2 各部署等の動向について【各部署等】
- 3 その他

## 内 容

- 1 平成 20 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について【教育委員会】

教育委員会より資料を配布のうえ、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果についての概要説明があり、意見交換を行った。

### 【概要説明】

- ・ この調査に対する本県の参加校は、公立学校のみで、小学校が 188 校、中学校が 95 校、特別支援学校中学部が 2 校の合計 285 校の参加となっている。
- ・ 今回の結果は、本県にとって非常に厳しい結果が出ている。
- ・ この結果を受けて、21 年度からということだけでなく、予算に関係なくすぐに出来る範囲で、数値、体力向上に努めていきたい。本日午後には、市町村担当者に集ってもらい、詳細な説明のうえ今後の取り組み方針を出していくこととしている。

### 【主な意見】

- ・ このテストを実施するとき、運動能力を発揮するための動機付けの声かけのマニュアルといったようなものはあるのか。  
それぞれの学校に冊子は配布している。
- ・ まじめにテストに取り組めばできるのに、能力が発揮されていないところがあるのではないかと。(副知事)  
そういった現場の声もあるので、今後改善をしていきたい。
- ・ 一昨年の全国学力テストでも、ずば抜けて全国最下位クラスだった。現状を認識してもらうために、敢えてあちらこちらでこのことを言ってきた。この結果では学校は何をしているのだということになる。今回の結果を深刻に受け止めなければならない。(知事)
- ・ 学力テストと体力テストの相関表を作成してみてもどうか。学力テストの結果が低い県は体力テストの結果も低い。学力テストの結果が高い県は体力テストの結果も高いと感じる。体力は学力と違い、先生の熱意が伝わってこそ、子供は力を発揮するものではないか。  
学力テストと体力テストの相関関係が見られる県もあるが、それは少数である。いろいろな原因があるとは思いますが、まずは、教育委員会として授業の中身の充実に取り組んでいく。真面目に一生懸命やるということをして徹底できていないところに、高知の教育の問題点があるのではないかと考えている。
- ・ 全国的に見れば、相関していないのかもしれないが、県によっては、相関しているところもあるはずである。一生懸命、勉強を教えるところは、一生懸命、スポーツもやらせる。だからこそ、この問題を深刻なことで受け止めて、率直にこの問題に対して、正面から向き合う。具体的にどう変えていくのか。というのを詰めることは必要である。(知事)

- ・ このままだと、多分、今年やっても同じ結果となる。深刻に受け止ないといけない。率直に、いけないものはいけないと認めて、現状から出発しないと何も変わらないと思う。予算に関係なく、速やかに対策を取るということで頑張ってもらいたい。(知事)

## 2 各部局等の動向について【各部局等】

政策企画部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布のうえ、各部局等より概要説明があり、意見交換を行った。

## 3 その他

商工労働部より、国の2次補正に関する緊急雇用対策の取りまとめ状況についての報告があった。

### 【主な意見】

- ・ これから、県外で大量の失業者が出てくることが予想される。一方で、本県は人手不足の産業分野をたくさん抱えている。この失業者を、こちらに呼び込んでくる大きなチャンスである。そんなときに、10人とか20人を増やす施策を考えても駄目で、3,000人増やすには、どうすればいいかといった視点で考えてもらいたい。(知事)
- ・ 高知県の農業人口を増やすことができないということは、将来、高知県の農業がなくなってもよいということと等しく、即ち、高知県の強みはなくなってもよいというに等しい。今こそ、千載一遇のチャンスである。人がおり、今回の国の2次補正による財源もある。是非、この機会を生かしてもらいたい。(知事)